

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	折尾愛真短期大学
設置者名	学校法人折尾愛真学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定め る基準 単位数	配置 困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	経済科	夜・通信	2		56	58	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/courses-offered/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	折尾愛真短期大学
設置者名	学校法人 折尾愛真学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/about

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職 社会福祉法人施設長	令和3年9月2日～令和7年9月1日	学校・施設運営に関する豊富な経験と知識を活かし、主に学校運営・学校管理に期待している。
非常勤	現職 代表取締役社長	令和3年9月2日～令和7年9月1日	企業経営に関する豊富な経験と知識を活かし、財務管理・経営管理に期待している。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	折尾愛真短期大学
設置者名	学校法人折尾愛真学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年、授業計画(シラバス)を作成し、冊子化し4月のオリエンテーションで在学生全員に配布しているほか、ホームページ上でも公表している。授業計画(シラバス)には、授業概要、実務経験の有無、到達目標、授業計画(15回の授業内容・授業外学修の内容と時間)、成績評価の方法・割合、その他の事項を記載している。	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/courses-offered/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 担当教員は、中間試験、期末試験、課題の取り組み、提出物（課題・レポート等）、受講態度などにより到達度を測り成績評価を行い、学修成果を厳格かつ適正に評価し単位を与えている。 また、「個人別成長の記録」システムで、学修成果として5つの育成要素・19項目を定め、入学時、進級時、卒業時に5段階で自己診断を行い、結果をレーダーチャート化し、学生や教員が学生個人の成長度合い（学修成果）を確認している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価による学業結果を総合的に判断する指標としてGPAを用いること、GPAの計算方法およびGPAを学習指導、進路指導、奨学金及び表彰に活用することを学則に規定している。 GPAについては4月のオリエンテーションで計算方法と活用方法を説明し、個人別の成績表にGPAを記載している。 GPAの低い学生に対しては、クラスアドバイザーが指導し、改善が見られない場合は退学勧奨を行っている。 成績分布状況は、成績管理システムで把握している。 GPAは成績評価のうち、秀に4点、優に3点、良に2点、可に1点、不可に0点をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を履修登録科目の総単位数で除して算出する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/school-rules/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針として、平成 23 年に学位授与の方針を策定し公表し、適宜見直しを行っている。

また、卒業に必要な単位数等、卒業要件を学則に定め、これを公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ

<https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/>

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	折尾愛真短期大学
設置者名	学校法人折尾愛真学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園時報・ホームページ http://www.orioaishin.ac.jp/about
収支計算書又は損益計算書	学園時報・ホームページ http://www.orioaishin.ac.jp/about
財産目録	学園時報・ホームページ http://www.orioaishin.ac.jp/about
事業報告書	学園時報・ホームページ http://www.orioaishin.ac.jp/about
監事による監査報告（書）	学園時報・ホームページ http://www.orioaishin.ac.jp/about

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：
公表方法：	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページ
<https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/>

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法：

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/
（概要） 学校法人の寄附行為には、「この法人は、教育基本法および学校教育法に従い、キリスト教に基づく人格教育を行い、誠実有能な人材を育成することを目的とする。」と記されており、4つの教育理念を堅持している。 1. キリスト教に基づく人格教育を行う。 2. 専門学科による職業教育を行い有能な人材を育成する。 3. 自主独立の精神を養う。 4. 国際交流による国際理解教育を行う。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/
（概要） 1. 知識と精神の調和のとれた、正しい人生観と穏健中立な思想を持っている。 2. 社会人として必要な経済や経営の基本的知識と技能を修得し、奉仕的職業人として社会に貢献することができる。 3. 自分が目指す職業を理解し、社会に役立つ技能を身につけ実際の場面で活用できる。 4. 異文化を理解し、国際的感覚を持っている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/
（概要） 1. 「優れた手腕と善き良心」を兼ね備えた奉仕的職業人の育成を目指し、キリスト教教育・教養教育及び専門的職業教育により、自主独立の精神を備えた総合的人間力の養成を目的とした教育科目の配置をする。 2. ビジネス教育を基本に実務的能力を養成し、コミュニケーション能力の育成に努める。 3. キャリア教育により自分を知り、将来を考えたライフデザイン・キャリアデザインを立てることができるよう科目を配置する。 4. 経済的思考力を身につけ、正しい判断ができるよう「社会人基礎力」の育成を目指す。 5. グローバル社会を生き抜くため、異文化を理解し国際的視野を養い、真の世界平和のために役立つ人間の養成を目指す。 6. 5つの育成要素（人間総合力・コミュニケーション能力・経済の教養・ビジネス実務能力・情報リテラシー）を定め編成する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/
（概要） 1. 本学の教育方針である「知育偏重の教育を避け、キリスト教を土台とした人格教育を行う」という目標を理解し、広い豊かな教養と、人間性を身につけたい人物を求める。 2. 奉仕的職業人として社会での活躍を目指し、実務に役立つ知識・技能を身につけることを志す人物を求める。 3. 国際的視野を備え自律的精神を身につけようと自ら学ぶ意欲のある人物を求める。 4. 学科の学修を行うのに必要な基礎学力を備えている人物を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
経済科	2 人	－					2 人
－	－	4 人	1 人	4 人	人	人	9 人
－	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		29 人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済科	100 人	101 人	101%	200 人	220 人	110%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100 人	101 人	101%	200 人	220 人	110%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済科	82 人 (100%)	5 人 (6.1%)	66 人 (80.5%)	11 人 (13.4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	82 人 (100%)	5 人 (6.1%)	66 人 (80.5%)	11 人 (13.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・授業科目についてはシラバスと履修規程を冊子で配布し、ホームページでも公開している。
・授業の方法と年間行事はオリエンテーション時に資料を配布し、全学年に説明を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
・62単位以上を履修しなければならない。				
(1) 必修科目 40単位				
共通基礎科目 (22単位)、 専門教育科目 18単位				
(2) 選択科目 22単位以上				
合計62単位以上				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	経済科	62 単位	⑦・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/#
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	経済科	600,000 円	100,000 円	369,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 履修規程を公表し、新年度オリエンテーション時に説明を行っている。再履修指導についてもオリエンテーション時に実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 2年次にキャリア演習を開講し就職、四年制大学編入支援を行っている。 就職課より求人を掲示板の他にもなどを学生にメールやSNSで情報提供している。 1週間に一度、就職開拓委員会を開催し、情報交換を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 奨学金の窓口を開設し、手続き等の支援を行っている。 新年度オリエンテーションでも全体説明を行っている。 学生募集要項やホームページにて奨学制度を紹介している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://www.orioaishin.ac.jp/tandai/college/disclosure/ 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F240310110926
学校名（〇〇大学 等）	折尾愛真短期大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人折尾愛真学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		22人（ － ）人	20人（ － ）人	23人（ － ）人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	13人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	－	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				23人（ － ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	0人	—
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。